

P C 建築フォーラム in 新潟 2024

開催目的

プレストレストコンクリート(PC)の歴史は、1886年アメリカのP.H.Jacksonによるプレストレストコンクリートの発明から始まり、実用化には1928年にフランスのFreyssinetが貢献、1932年には我国においても原理特許が習得されました。

そして我国での実用化の動きが始まったのが、1951年頃と云われています。しかしながら、約70年強の歳月を経ても建築分野では未だ大々的な普及に至っていません。

世界に目を向ければ、ピエール・ネルビー連の作品群、ペンシルバニア大学リチャーズ医学研究所、シドニーのオペラハウス、モントリオールのアビタ'67等が、我国では同じく1960年代にゆかり文化幼稚園、千葉県立中央図書館等のPC建築が多数建設されていましたが、以降、十分に普及してしているとは言い難いのが現状です。

これを踏まえ、当PC建築フォーラムでは、多くの若い建築家・構造実務者および学生に、PC建築の魅力を広く紹介すると共に、普及啓蒙活動の一環として、原則毎年各地で開催することとしています。(※プレキャストコンクリートも範疇にあります。)

開催日：令和6年10月19日(土) 13:00~17:30

場 所：長岡造形大学 大講義室

参加費：無料

< 講演会プログラム >

1. 開会挨拶 吉 野 博：関西 PC 研究会 13:00~13:05

< 講 演 >

2. 「PC 建築について」 大 野 義 照：PC 研究会代表、大阪大学名誉教授 13:05~13:40

3. 「PC 建築の歴史と現状」 長谷川 一美：構造家、構造空間設計室〈KKS〉 13:40~14:15

4. 「国内の PC 建築紹介」 坂 田 博 史：株式会社 建研 14:15~14:50

5. 「雪国に建つアオーレ長岡のデザイン」 阿知波 修二：隈研吾建築都市設計事務所 14:50~15:50

ゲスト講演

江 尻 憲 泰：江尻建築構造設計事務所

< 休 憩 >

6. パネルディスカッション

「建築のつくり方」

【司会】

16:05~17:25

— か・かた・かたち —

与那嶺 仁志：長岡造形大学准教授、ARUP

【パネリスト】

阿知波 修二：前掲

江 尻 憲 泰：前掲

中 村 伸：株式会社 日本設計

佐 藤 淳 哉：長岡造形大学教授

徐 光：構造家、株式会社 JSD 代表

長谷川 一美：前掲

大 野 義 照：前掲

7. 閉会挨拶

17:25~17:30

令和6年10月20日(日) 8:45~16:00頃(予定) PC 建築見学会(参加費無料)